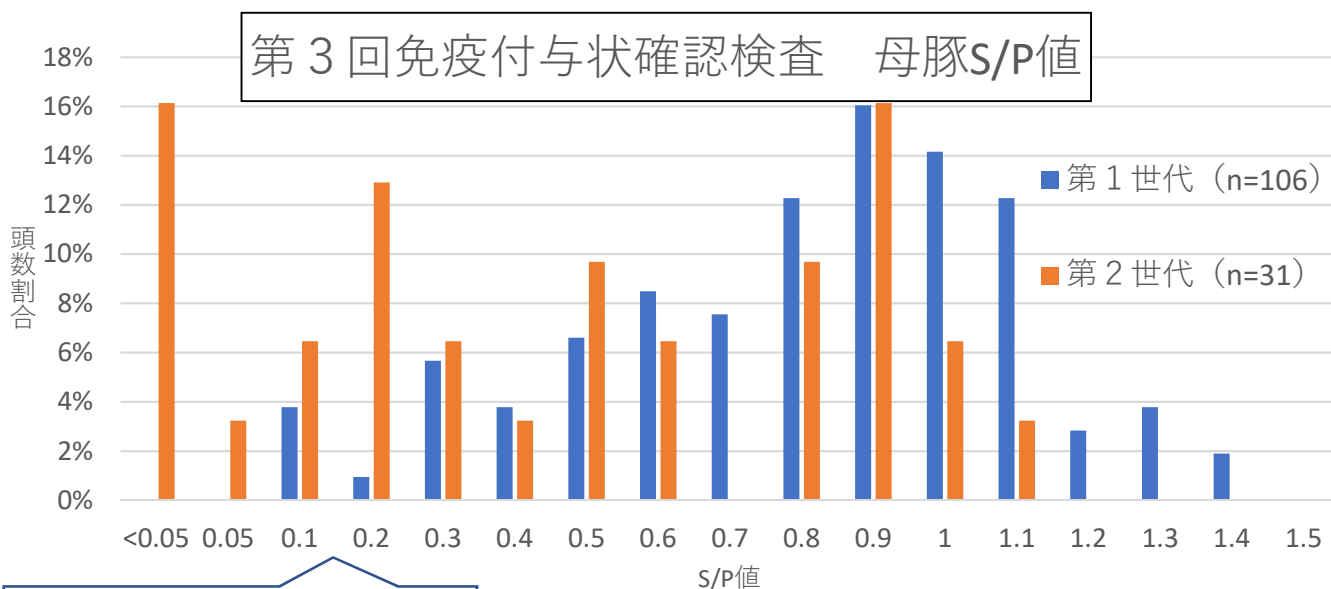




母豚の豚熱抗体価の分布が変化しています

指針に基づく半年毎の免疫付与状況確認検査から、母豚の抗体価の分布（ELISA S/P値による）が変化してくる兆候が確認されました。



0.3未満の割合

第1世代※・・・ 4.7%

第2世代※・・・ 38.7%

第1世代ではS/P値が高い0.9を中心に分布していますが、第2世代では低い母豚が多く確認されました。

※第1世代・・・免疫を持たない状態でワクチン接種され、強い免疫反応が起こり、高い抗体価の上昇が起きた母豚
 ※第2世代・・・移行抗体を持った状態で接種され、高止まりが起きず低～中程度の抗体価となった母豚

低抗体価の母豚から生まれた子豚は移行抗体が早期に消失してしまい、防御できない子豚の割合が多くなります

現在、母豚の抗体価の高止まりを確認し、子豚のワクチン接種日齢を遅らせていますが、今後は母豚の抗体分布が変化することが想定されていますので、接種適期の定期的な検討を実施してください。

病性鑑定係では、ワクチン接種適期推定にかかる取り組みを進めています。農家から適期推定を希望する連絡がありましたらご一報ください。ワクチン防疫体制の強化及び農家の安心のため、どうぞよろしくお願いいたします。